

共同体での私のあり方（識別）



私は何に召されているのでしょうか？

マリアニスト共同体において、私の奉獻は何を意味するのでしょうか。

- ・私はマリアニスト共同体に何を求めますか。
- ・マリアニスト共同体は私に何を求めますか。

マリアニストとしての歩みの特徴づけること

- ・マリアニストの道に沿った私たちの行いは意図的であり意識的な努力が必要です。決して偶然に起こることではありません。
- ・マリアニストとしての歩みは広範囲におよび、徐々に6つの特徴を全て含むようになります。
 - ・**共同体**：私たちは人生の重要な中心となる価値を分かち合う人々から成るグループです。ディスカッショングループあるいは社会的グループではありません。
 - ・**個人的な人間的・靈的成長**：自己認識と靈的成長はグループの原動力にとって極めて重要です。私たちのグループは奉仕を主体としていません。
 - ・**使命と宣教活動**：私たちはこの世界とこの共同体に対する団体としての責任感を分かち合い、それに基づいて行動します。メンバーは自分の共同体自身と、より大きな世界に関心を持たなければなりません。私たちの使命は教会の使命の一部を構成しているのです。
 - ・**包括性、あるいは、混同なき一致**：この共同体はその内部、外部にある相違を承認し、それを正しく評価し、発展させて、シャミナード師が心に描いた全ての社会経済的な階層の、男女、修道者と信徒、多様な民族から成る「一つの大きな家族」と

なるよう努めます。

- ・**マリア的**：私たちは、マリアの信仰の歩みと、イエスに倣う意義深いモデルである教会を建てるにあたってのマリアの方法を理解しています。
- ・**マリアニスト家族と関わって**：様々な点で、また、実際の方法において、私たちはその地域の、或はそれを越えた地域のマリアニスト家族に分類された他のグループと意識的に繋がりを持ちます。

私たちの道がこれらすべての要素を徐々に包含するにつれて、次のような質問がでます。

「この共同体は私たちに何を提供してくれるのか」

と。マリアニスト家族とその創立のカリスマは、活動や奉仕に対して一つの霊性とアプローチを持っています。その霊性とアプローチは受肉に焦点を合わせており、私たちの人生に動機づけの源、生きる方向性、養成のスタイルを与えてくれます。マリアのように、私たちは、独特の運動を伴った独特のやり方で、世界と教会の中で、また、それらに対して存在を示します。

私たちはまた次のような質問をしたいと思います。

「私たちはこの共同体に何を提供しますか。」

通常、私たちは共同体の宣教活動に参加し、自分のタレントを提供し、献身します。

わたしたちは何を約束しているのでしょうか

いくつかの生活上の選択や決定は、何であれ重要な意味を持つ約束あるいは誓願の基礎を形成します。人間の成熟として、私たちは少なくとも次の三つの分野での選択に直面します。

- ① **経済的側面**： 時間、お金、財産をどう使いますか
- ② **人間関係**： 誰が私たちの仲間に重要な人になりますか
- ③ **自己決定**： 私たちはどんな仕事をし、どこに住むことになりますか

経済的側面、人間関係、自己決定、これら主要な分野について考え、生活についてのどの決定が、あなたの共同体への約束や誓約に影響されているかをよく考えてください。自分が何に呼ばれていると感じますか、そして、この呼びかけから生じる影響を受ける生活上の事柄にはどんなものがありますか。

このような質問をあれこれ考えることが識別です。識別は道徳的価値に関する事ではありません。すなわち、神とマリアはあらゆるタイプの献身とライフスタイルを必要とされるということです。とはいえ、

- ・あなたはどこに呼ばれていますか。
- ・何に、どの共同体に、どのライフスタイルに呼ばれていますか。
- ・何があなたにピッタリ合いますか。
- ・あなたがいるべき場はどこですか。
- ・あなたがこの共同体に属することの正当性を、あなたはどのように知るのですか。また他の人はそれをどのように知るのですか。

このことは、私がかつてサン・エディジオ共同体の会員およびこの共同体について尋ねていた誰かと交わした会話を思い起こさせます。サン・エディジオ共同体というのは、1968年にローマで信徒によって創立され、祈り、貧しい人々との友情、そして武力衝突の平和的和解に献身する世界的な信徒運動です。彼らは通常、誓願を宣立せず、共同の家にも住まず、「会員証」も持ちません。彼らはそれぞれ個人の家庭を持ち、職業生活に従事します。この共同体が自分の共同体に属する者を知る方法について尋ねられた時、この会員は、「他の事柄もあるかもしれませんが、彼らの時間とお金の使い方を見ればすぐわかります。」と言いました。彼らが自分の家族の世話をし、自分の仕事や勉強に打ち込むために必要な時間とお金は、何であれそのために使われますが、残りは共同体に提供されます。そのような理解をもって、彼らは言います。「誰がこの共同体に『属して』いるかを知るのはそれほど難しいことではありません」と。

識別と約束

識別のプロセスは、マリアニスト共同体の中で約束をすることによって、カギとなります。

「私の人生のこの時、共同体あるいはマリアは
私の人生に何を要求していますか」

と尋ねることは重要です。

共同体の分かち合い：共同体の原動力について

「約束」の概念を調べる前に、あなたが属している共同体のタイプについて幾つかの質問に答えるのは良いことでしょう。あなたのグループとその相互作用のスタイルはどのようなものですか。あなたの共同体の活動・興味の主な中心は何ですか。また、共同体のメンバーはお互いに何を期待していますか。付録A、Bを参照してください。

共同体の分かち合い

マリアニストの約束を考えること

共同体の一人ひとりのメンバーは以下の質問に答えてみてください。

- ・ 私は何を約束していますか
- ・ 誰に・・・
- ・ 何を、誰とすることを・・・
- ・ 誰が、また、何が私の決定に影響していますか

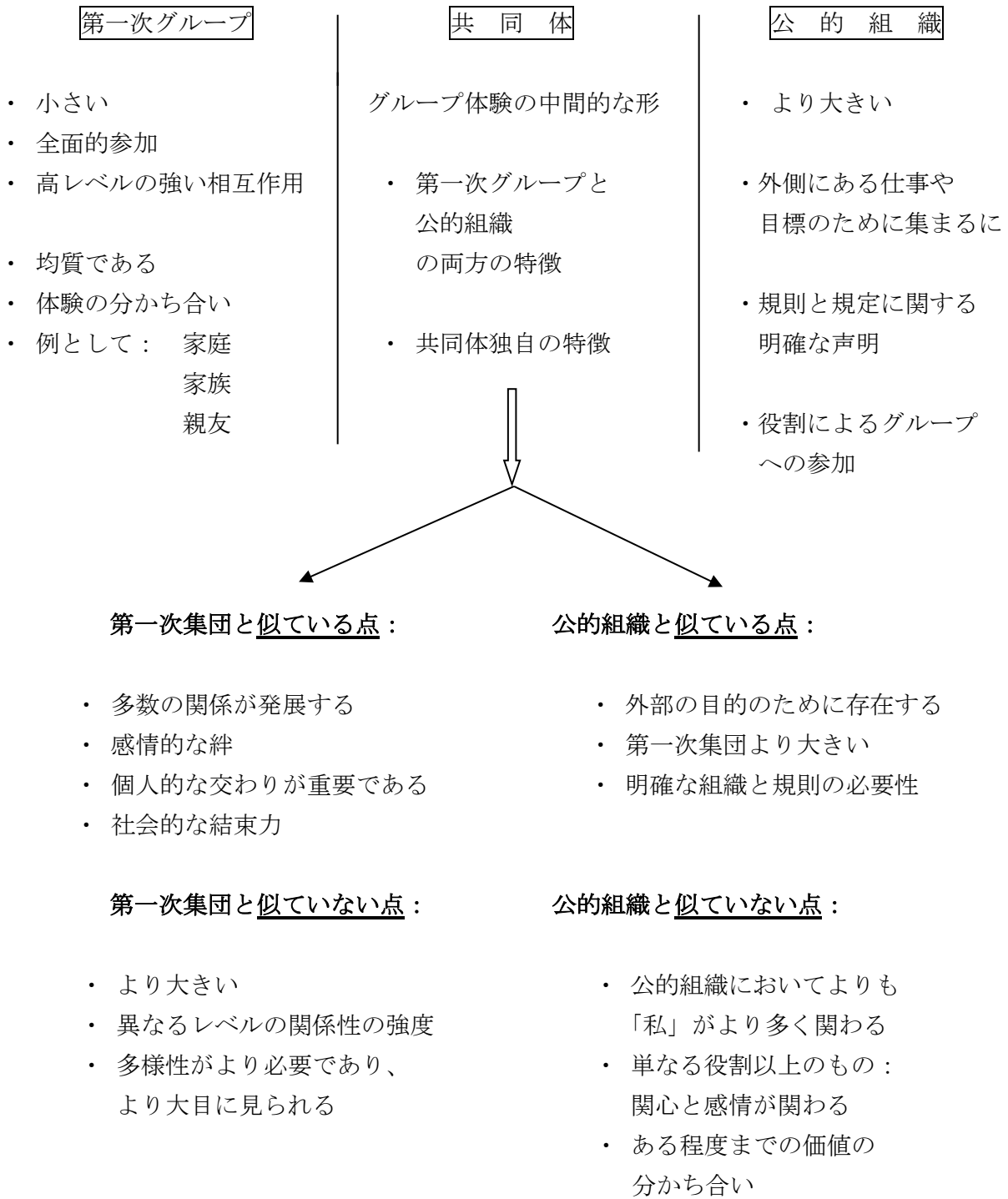
この時点で、私の生活上の選択（経済的側面、人間関係、自己決定）は

- ・ 私だけの決定ですか。
- ・ 共同体の決定ですか。
- ・ 私と私の霊的同伴者の事柄ですか、あるいは、私と神の事柄ですか。

私は何を約束する準備ができていますか（あるいは、できていませんか）。

私が約束できること、あるいは、約束したいこと（すなわち、適切な約束）を、どのようにしようと準備するつもりですか。

付録 A：共同体は、いわゆるグループでもなければ公的な組織でもない



共同体には、二つの課題（外部の任務、および、メンバー間に起こっていることへの配慮）について、本来的な緊張がある。

(E.E. Whitehead and James D. Whitehead の講話から)

付録 B： 共同体が向き合う質問：より良い共同体を目指して

共同体が向き合う質問	第一次グループの特徴					公的組織の特徴	
	1	2	3	4	5	6	7
このグループの主な焦点は何ですか	グループ自身					グループの仕事	
メンバーはどれほど深く関わっていますか	一人ひとりのために自分の多くの部分を					ただ一つの役割で	
感情の分かち合いは奨励されていますか	感情の深さ					中立状態	
グループの行動はどのように調整されていますか	習慣、或は、圧迫で					手続きで	
メンバーはお互いにどのように義務を負っていますか	誠実によって					契約によって	
メンバーはどのように評価されていますか	私たちの一人として					実績によって	

- **課題1**：あなたが所属するグループ生活の6つの側面について考えて下さい。上の6つの質問に答えましょう。ひとつひとつについて、グループが第一次グループのように行動すると思うならば、小さい方の数に○をつけて下さい。もしグループが公的組織のように行動すると思うならば、大きな方の数字に○をつけて下さい。結果を評価しましょう。
- **課題2**：次に、グループの他の大部分のメンバーがこのグループを評価するとしたらどうなるかを考えて、質問に答えましょう。その結果を前のあなたの答と比較して下さい。結果を評価しましょう。結果はどうですか？グループへのあなた自身の参加について、何か見えますか。
- **課題3**：始めて参加した時のあなたのこのグループの見方を示唆するために、図表に○をつけて下さい。この作業を、あなたの今の評価と比較してください。重要な違いがありますか。もしあるならば、なぜそう思いますか。グループは変化しましたか、あるいは、その変化は主にあなたの意識の中になりましたか。
- **課題4**：このグループが本来の働きをするようあなたが選ぶ方法を示すために図表に○をつけて下さい。この「理想的な姿」と、このグループが実際に行なっている通りにあなたが見る見方との間に違いがありますか。どの分野に食い違いが現れていますか。

この用紙をコピーして皆で課題に取り組むことは良いことです。課題1で指示したように、皆に図表を完成してもらって下さい。それから、そこに現れている、似ていることと違いについて、一緒に話し合ってください。グループは、個人的な分析の後、話し合いのために時間を取ってください。どんな課題が出てくるのでしょうか。

参照：The Promise and the path：Chapter 6